

市長と語る タウンミーティング  
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年7月1日 午後1時30分～3時00分  
会 場 三角分館（三角町会）

参加者 18人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆1点目、ふじみ野市にはどのような断層があるのか。2点目、関越は盛り土しているが耐震性は大丈夫なのか。3点目、水道タンクが三角バス停の方から見ると東日本大震災後傾いたように見えるがどうなのか。4点目、雨天時の三角交差点は、どの位の雨でどのように交通規制をするのか。
- ☆1点目の断層は、綾瀬川断層がふじみ野市にかかっている。2点目は、確認した後日お知らせします。3点目については調べてみます。4点目について、一時期より冠水はしなくなっている。冠水した場合には、通行止めになっています。また、センサーがあり、水位が上がると表示が出るようになっています。また、職員も大雨が降る時には備えています。先日の台風の時にも夜中に職員が30人態勢で備えていました。
- ◆防災行政無線の音量を下げていると聞いたが、どの位下げているのか。
- ☆最大を100とすると70位に下げている。9月12日の10時と10時30分にJアラート（北朝鮮からの弾道ミサイル攻撃時などに情報を瞬時に伝達するシステム）の試験放送があり、その時には10割で流すので、聞こえるか確認してほしい。このことは事前にお知らせします。
- ◆防災行政無線の設置場所は変わらないのかどうか。
- ☆音達図を作成して聞こえにくい場所については、新規に設置している。しかし、聞こえない場所や聞きにくい地域もあり、音量を10割にすれば聞こえるかもしれない。しかし、回りの環境や木、マンションの反射などが原因となることもあり、角度を変えることによって違ってくることもある。また、防災行政無線もその使用は慎重にしないとしない。災害時などは、1回放送すると次の放送も重大なことと感じ不安に陥ることがある。
- ◆防災行政無線で流す内容は。
- ☆子供の下校を子供の声で知らせる内容、午後5時に流す音楽、警察からの依頼による行方不明者に関するもの、最近では死亡事故が多発したので注意喚起する内容のものなどです。かつては、無線のチェックのため、お昼にサイレンを鳴らしていたが、うるさいとの苦情があり現在は年1回にしている。
- ◆行政から受ける立場であったが自分自身がどうするかを実践している。小さい袋に絆創膏、ナイロン、お菓子などを入れて持ち歩き、災害に備えている。災

害は、通勤中の電車の中などどこで起こるかわからないので、そのようなものを持ち歩くことを推進、PRしてはどうか。

☆非常持ち出し袋は家にはある。しかし、重要なことは、災害はどこにいる時にいつ起こるかがわからないということ。家にいる時とは限らない。また、平日か休日か、昼か夜か深夜か、夏か冬か、などによって対応は全然違ってくる。冬の北風に強い調理中に地震が発生したら、火災が発生します。しかし、水道管が使えないと火は消せない。まずは皆さんには生き延びてほしい。そのためには、まずは避難場所に向かって逃げるのではないこと。煙、火のない方へ、畑でもよいので逃げて、自分の身の安全を守ってほしい。それから落ち着いてから避難所へ向かってほしい。

先程の実践されている事は大変有効なので参考とさせていただきます。例えば、ハンカチが1枚あれば止血もできるので、持ち歩くことの有効性は感じます。また、病気等で薬局からもらう薬の明細を財布などに入れておくと、いざという時にその人の病気の状況がわかるので有効です。

◆避難所の三角小は、関越下が通れなくなるなどが想定される。避難場所の見直しを実施しているのかどうか。

☆まずは、避難場所を目指すのではなく、行政境、他市、出先などで災害に遭った場合には、鶴ヶ丘小でも給食センターでもよいので、まずは近くの避難所などに避難してほしい。落ち着いてから決まった避難所へ移動してほしい。決まった避難所の区割りはこれから町会長等と検討します。

◆大井学校給食センターの臭いがすごいのでなんとかしてほしい。特に朝がよく臭う。苦情を言って、清掃をしてもらうと一時はよくなる。浄化槽がフェンスの境にありそこから臭うのではないか。

☆調べてみます。

◆先週だったかと思うが、土日の夜中、大井学校給食センターの電気がついたままであった。

☆そのような時には市役所に連絡してほしい。担当に連絡します。

◆3. 11の時に被害があったと聞いたが、地盤の資料はないのか。

☆近隣の地盤は強い。地震が発生すると各市町村にある震度計からその市町村の震度が県等に伝えられるようになっている。根拠は不明ですがふじみ野市は震度が低い傾向にある。

◆災害はいつ起こるかわからない。市に蛍光灯を付けてもらったが、夜間の場合、電気も使えなくなると使用できなくなる。また、電池も売り切れてない状況になる。それに代わるものはないのか。

☆電気料のかからないLEDが浸透してきているが、財政状況が厳しく、他に優先度の高いものがあるのですぐにLEDに代えることはできない。しかし、1年待つと安くなるので期待したい。真っ暗闇の中に少しでも明かりがあれば安心できる。

◆防災の備蓄などについて、富士見市や三芳町と一緒に備蓄した方が良いのではないか。

☆現在のところ、考えてはいません。町会の中で自主防災組織を組織し、防災資機材の充実を図っていきたい。災害が発生した場合、食糧は1日2食として市が1日、県が1日確保するので、家庭で1日分確保してほしい。全家庭がだめになることはないので、各家庭全体で1日分を確保してもらえればと思います。

◆上水道の第4取水場脇のかつて通学路であった道が、子供が少なくなったために廃止されて車の通行量が多くなり、砂利が畑に入ってきている。消防車も通れず、大型車も通れないので直せないか。

☆現地を見えます。